

浪



寶曆
西丸新御着之番
二

和	書
三三五六九	類
三九二	冊
一五二	函
一五	架

内閣文庫
番號 和32.167
冊數 391 (238)
函號 152 121

共
二

天和二年六月三日

下山甚清光座敷

御藥込御腰物持役

新中書式目録登組 二重儀 下山甚清光座敷

元禄六百年十月十日御洗炮御算旨
奉行
禱入松平

主斗歌組

正徳二年三月三日死

貞享元子年八月十八日

山田伊集原重家嫡孫兼祖
山田伊集原重次郎

本由安山條伊集原組

新洲書武田興隆組

三石後

山田九兵衛重隆

元禄十五年四月廿九日死二十六歳

貞享元子年八月十日

中山権左衛門孫久三男

大洲安永川下野吉組

新洲書武田興左衛門組

三言 中山又四郎久寛

後三言者

後改修舟通

同年十二月廿日卒後子加(孫久)

元二言五十石

元禄五申年八月十日相之間沖書

元禄六年八月 日小差後不入

ら色三彦坂三紋守組と云

元禄七年申年 旦五月九日元組新洲書

武田興左衛門組(孫久)

貞享元子年八月十八日

依摺基三市吉余也願

大洲安濃川下野守組

新洲書式田與在屋組

二百七十

依摺基右邊(倭武)

元禄六酉年十月九日死又十四歳

貞享元子年八月十八日

赤井平次時之二男

大津安海川中野守也

新津書武田興有組

二言後 赤井平右衛門時尹

後二百石俵

二百石

同年十一月廿一日又十俵之加（添入元

二百石俵

同年同月廿七日又とせうりひ（宿正
小うけりあきとて黄金（組）と候事

元禄三年八月廿日分知二百石

是返の二百石俵ハ返（一）候事

元禄四年十月十日小菅領奉行

元禄五年十二月五日在木割下水
みく居跡の地百七十坪と
法家

元禄七年十二月十日西城と
造り出せし御用を惣勢しりし
白浪平と法家

元禄九子年二月廿日在宮月
嚴有廟十七回の御追福御用と
余をいじ

元禄九子年二月廿八日御目付
同年十二月廿二日布衣着と免す

同年同月廿六日沙加急二百俵九
五百石

元禄十五年二月十日御席下番
之取掛日沙加急二百俵九千石

同年二月廿八日御使番

同年八月廿日列陣山取陣沙
目付くしてきさ家の作と急

九月十日御唯賞金銀時後二
羽威と急つと唯の賞の年七月
廿八日歸て居留を

元禄十三年八月廣米八百俵と
定地ふなり給

元禄十三辰年十二月二日大坂涉
目付代りと命をくはし明の己辰年
正月廿八日涉服黄令^ねと給^ふと給^ふ
九月廿八日返^りて涉湯也
元禄十六未年六月三日大坂
涉目付代りと命をくはし七月
朔日涉服黄令^ねと給^ふと明の
申此年二月廿八日歸^りて涉湯也
宝永三戌年三月十九日信濃小
城川渡^りて涉湯と命をくはし三月
廿八日涉服黄令^ねと給^ふと給^ふと二月
廿八日歸^りて涉湯也

宝永五子年六月廿三日加後越中守
明英朝臣の郵ふ^りて涉湯と
命をくはし事^はり^て涉湯と免^さす^也
小室^は入^らず^に是^を罷^り及^すと
作^らす^也

享保四亥年八月二日有馬内膳
支^つ配^す

同年十二月六日致仕
享保五子年七月廿二日死六十九歳

貞享元子年八月十八日

長田理善寺次郎

大津安永初孫侍

新津藩武田興登組 三后 長田十右衛門守道

后二百卒後

同年十二月廿一日卒後之加(後云)

凡二百卒後

元禄四_未年十月又日_任津膳奉行

元禄_中年七月廿八日相之向津藩

同年同月晦日津小納戸

元禄七_戌年四月十四日二九津藩奉行

元禄九_子年七月九日預目二百卒石

是迄の二言卒後ハ一ノ一也
元禄十五年十二月十八日二九清守
后と飛つひつとくく布衣翁と
免さぬ
元禄十四己年正月十日沖流死
元禄十五年八月十四日死又十葉

貞享元子年八月十八日

新井書武田興左衛門組

二言後 田邊守次良胤
内子後
後二言卒者

田邊守次良胤
沖流物事

同年十二月廿一日又十後之加(後ハ)
凡二言卒者

元禄三年八月十二日死

貞享元子年八月十八日

大田平左衛門好親惣領

小主人松平義隆組

新津藩武田興友組 二層 大田平左衛門好重

後二百五俵

同年十二月廿日卒後之加へ給ふ

元二百五俵

貞享四年八月十八日出羽軍御代官

元禄元辰年十月廿四日死

貞享元子年八月十八日

加茂三左衛門義休惣領

小十人西宮権衛門組

新津藩武田興左衛門組 三右衛門 加茂三左衛門義休長

後三右衛門

同年十二月廿一日卒後三加(後八元)

二百卒後

元禄十四三年五月廿六日相之間沙敷

同年八月七日小善後不入(是是部)

丹波守組(丹)

宝永元申年六月十日新津藩二枝

日向守組(丹)

元禄六年十月九日

曲淵市常宗承養子

大井安高由主水正祖

新洲番武田興九郎組

三依 曲淵伊左衛門重羽

後三平依

後 神名守

信濃守

元禄六年十二月十八日又十依之加

多ハ凡二百又十依

元禄九年九月三日任 初名小宮後奉行

同年十二月廿日涉加恩又十依凡三百依

元禄十五年七月廿日东叡山の

申出雲と造せらるる涉田と合さるる

元禄十^三寅年八月二十日中堂の事小
芳^三ありし^三矣^三令^三板^三と^三結^三家

同年九月十日东敷山

嚴有廟と造せらる^三是^三本^三坊^三と^三造^三せ
あ^三り^三伊^三用^三と^三令^三を^三り^三也^三

元禄十二卯年三月九日^三夜^三の^三事
小^三芳^三あり^三し^三と^三矣^三令^三板^三と^三結^三家

元禄十三辰年十月廿八日小堂^三後^三堂^三の^三事
組^三取

同年十二月廿日布衣^三若^三と^三免^三也^三

同年同月廿二日^三伊^三加^三意^三二^三百^三石^三又^三百^三石
元禄十^三巳年五月十八日^三濱^三美^三年^三此

經營と造せらる^三事^三小^三芳^三あり^三し^三と^三矣^三令^三板^三と^三結^三家

元禄十^三午年十二月廿二日^三伊^三加^三意^三二^三百^三石
九^三七^三百^三石

元禄十六未年三月十日^三波^三列^三久^三能
山と造せらる^三伊^三用^三と^三令^三を^三り^三也^三

同月十四日^三修^三せ^三ら^三る^三事^三と^三見^三分^三に
糸^三目^三八^三沙^三服^三矣^三令^三板^三と^三結^三家^三羽^三織^三と

結^三と^三曰^三月^三十^三四^三日^三由^三て^三結^三滑^三一^三

同年六月廿六日^三东^三敷^三山^三の
伊^三宮^三王^三子^三礼^三社^三と^三修^三せ^三ら^三る^三事^三穴^三八^三幡^三の
宮^三と^三結^三せ^三ら^三る^三事^三に^三芳^三あり^三し^三と^三矣^三

時後三之孫家

同年八月廿七日壬午年久能

御宮と修せらる御用と令書き

同年十月廿九日付夜地震めて

破損せし事と修せらる御用

と令書き十二月廿九日世交

事に芳切りとて時後三羽織と修せ

宝永元^中年十月十五日久能

御宮御造年四月廿八日叙爵作左大臣

神前守と改免

同年十二月廿八日久能より返く

相留し世交久能

宮造りとの事小芳切りとて令書^十

と修せ

宝永二年四月廿八日御代事奉行

同年七月初日三縁山

桂昌院君御佛殿と造せらる

御用と令書き十月廿八日世交の

事に芳切りとて令書^三及時後三

羽織と修せ

同年十二月十日沙加屋又百石九千二百石

宝永四年九月冒瀆御代と

造せらる御用と令書き

宝永五年三月廿八日付夜地震に

芳阿^らと^とて時^じ後^ご三^{さん}と^と後^ごと

宝永七^{しち}年^{ねん}正月^{しょうげつ}十日^{じゅうにち}芝^{しば}口^{ぐち}沖^{おき}門^{かど}を

造^{つく}せ^しる^{べし}あ^ら、涉^{せつ}用^{よう}と^と令^{しん}せ^らら^れ也^{なり}

同^{どう}年^{ねん}九月^{くわがつ}廿^{にじゅう}八^{はち}日^{にち}世^よ友^{とも}芝^{しば}口^{ぐち}の^の新^{しん}郭^{かく}

門^{かど}と^と造^{つく}せ^しる^{べし}あ^ら、事^{こと}小^こ芳^{よし}阿^あと^とて

黄^{わう}令^{れい}三^{さん}時^じ後^ご三^{さん}羽^う藏^{ざう}と^と後^ごと

正^{せい}徳^{とく}元^{げん}年^{ねん}正月^{しょうげつ}廿^{にじゅう}六^{ろく}日^{にち}光^{みつ}元^{げん}

沖^{おき}宮^{みや}と^と造^{つく}せ^しる^{べし}あ^ら、涉^{せつ}用^{よう}と^と令^{しん}せ^らら^れ也^{なり}

又^{また}月^{つき}廿^{にじゅう}六^{ろく}日^{にち}涉^{せつ}用^{よう}黄^{わう}令^{れい}三^{さん}時^じ後^ご三^{さん}

羽^う藏^{ざう}と^と後^ごと^と七月^{しちがつ}朔^{しやく}日^{にち}涉^{せつ}用^{よう}を

正^{せい}徳^{とく}二^に年^{ねん}正月^{しょうげつ}廿^{にじゅう}六^{ろく}日^{にち}光^{みつ}元^{げん}三^{さん}年^{ねん}

涉^{せつ}用^{よう}黄^{わう}令^{れい}三^{さん}時^じ後^ご三^{さん}羽^う藏^{ざう}と^と後^ごと

是^{こゝ}沖^{おき}社^{しゃ}系^{けい}作^{さく}出^{しゅつ}き^き見^み分^{ぶん}り^りて

き^きう^うの^のあ^あら^らり^りて^てなり^{なり}と^と二^に月^{げつ}十^{じゅう}又^{また}日^{にち}

涉^{せつ}用^{よう}一^{いつ}丈^{ぢやう}と^と三^{さん}日^{にち}光^{みつ}元^{げん}

二^に年^{ねん}又^{また}月^{つき}十^{じゅう}又^{また}日^{にち}涉^{せつ}用^{よう}一^{いつ}

正^{せい}徳^{とく}三^{さん}年^{ねん}九月^{くわがつ}十^{じゅう}又^{また}日^{にち}光^{みつ}元^{げん}

沖^{おき}宮^{みや}と^と造^{つく}せ^しる^{べし}あ^ら、涉^{せつ}用^{よう}と^と令^{しん}せ^らら^れ也^{なり}

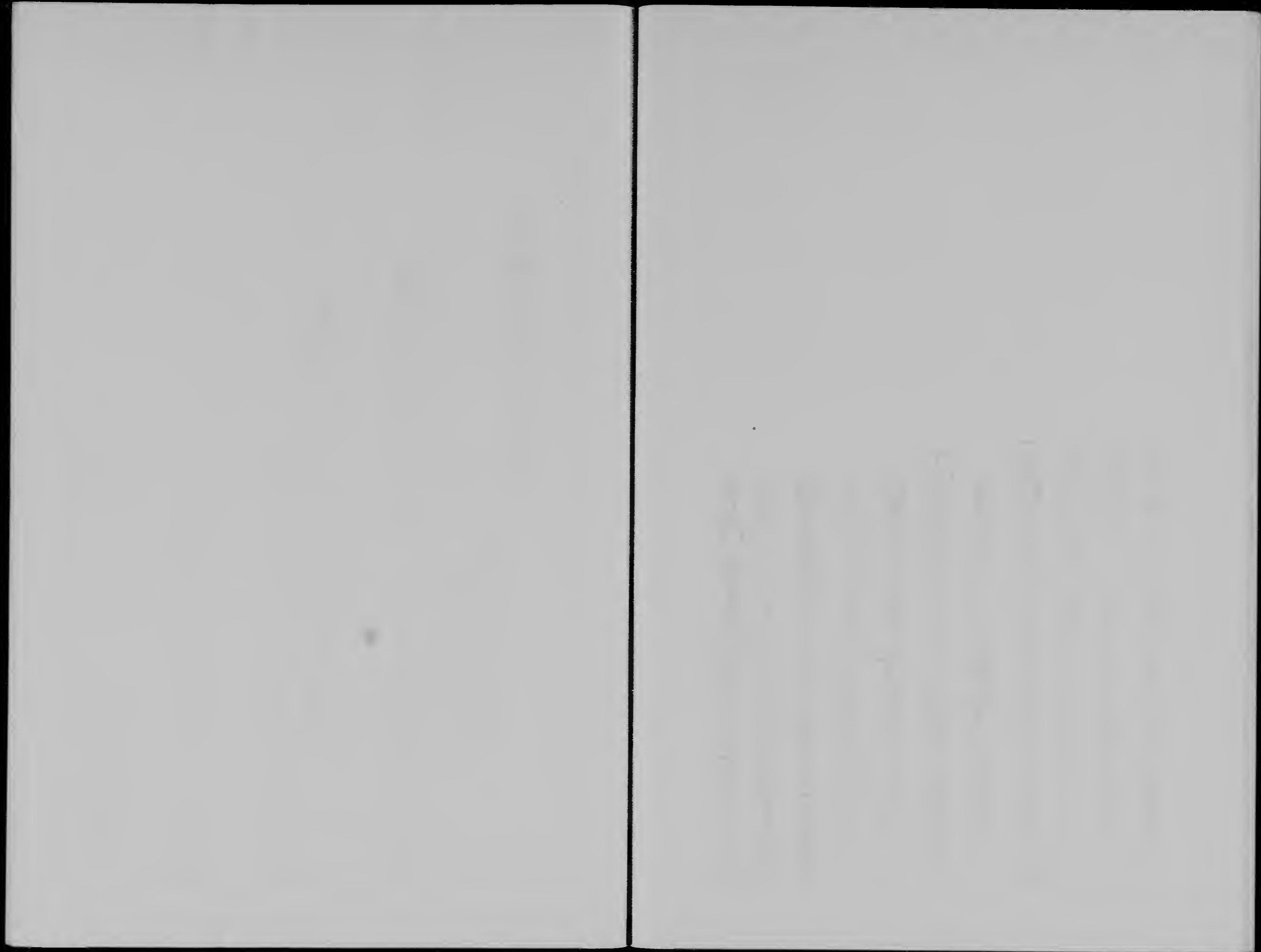
芳^{よし}阿^あと^とて^て黄^{わう}令^{れい}三^{さん}時^じ後^ご三^{さん}羽^う藏^{ざう}

正^{せい}徳^{とく}四^し年^{ねん}正月^{しょうげつ}廿^{にじゅう}六^{ろく}日^{にち}録^{りく}目^{もく}二^に千^{せん}又^{また}十^{じゅう}石^{しやく}

是^{こゝ}近^{ちか}の^の石^{いし}二^に百^{ひやく}石^{しやく}返^{かへ}一^{いつ}石^{しやく}

正^{せい}徳^{とく}又^{また}未^み年^{ねん}十月^{じゅうがつ}六^{ろく}日^{にち}祥^{しやう}多^た令^{れい}小^こ列^{れつ}す

享^{きやう}保^{ほう}四^し年^{ねん}四月^{しがつ}廿^{にじゅう}六^{ろく}日^{にち}率^{すう}軍^{ぐん}策^{さく}



元禄^中六年十月九日

大河内右衛門政憲願

大河内右衛門政憲守組

新中藩武田与左衛門組 三石 大河内又十郎政憲

元禄十五年十月廿三日新中藩組歌

同年十二月廿二日沙加恩三石俵九石
十石

元禄十五年七月三日是近廣業
三石俵九石一石此地如法

元禄十六年三月廿八日御船
同年十二月廿日布衣着之亮子

正徳元卯年三月廿二日若狭津殿
あまの天地丸津船津後河守
よりて時後三と結家

享保二酉年五月十日より先て
津放鷹の時津船津田と惣免
同日十六日當申心亭まで付度
此事に芳切りとて時後三と結家

享保十酉年十月十八日祥高合
列す

享保十二未年九月二日致仕

享保十三中_中年閏月十日死六十六歳

元禄又_申年十月九日

竹尾重直門元清惣願
大津出島片桐主格云組

新津藩武田興直組 二百名 竹尾傳九郎元貞

後二百名石 門守儀

同年十一月廿二日又十俵と加(注八元
二百六十石

元禄十四巳年六月九日津服を以

元禄十五午年十一月廿日番帯に
芳切りとて賞金_二石と結家

元禄十六未年十二月廿日番同
事小賞金_二石と結家と是より

年毎まかりるま
宝永又子年丑正月廿三日湯小納戸
宝永六丑年二月廿一日統坂妻之祖
新法妻行本去依守想入

元禄又申年十月九日

新沖書武田興在登組
二百後小侯七重登改祚

小侯登改重登祚
冲牌物在行

元禄六酉年十二月廿八日百二十後と
加込込込込込二百卒後

元禄十丑年八月十九日死

元禄又申年十月九日

福王平四郎定長

小十人兩宮權衛組

新中書武田興友組

百俵十口 福王平四郎定長

後言卒俵

之后百俵之加(注)は是迄の十口も

廣家にも一注は是迄の百俵

享保六丑年四月六日老祥賜黄令入

酒井大守支配

享保十八丑年十一月晦日死八十三歳

元禄七戌年旦月九日

中山信友門下久三男

小笠原信友門下守組

新井藩武田興隆守組

中山次郎右衛門久寛

門下守組

正徳三己年拜入松前修夏守組

享保四年八月二日為安後主膳

支配

享保又子年九月十二日死

元禄十五年三月十八日

源於久遠の室保貴子

大御前一柳共依守組

新御書武田興隆組

二言後 源朝三郎云清伴重

後二言後

改表之節

二言卒石川卒後

同年十二月廿二日卒後と加(注)ハ

凡二言卒後

室永四亥年 月 日源目二言卒石

是迄の二言卒後ハ之ノ一也

正徳元年卯年三月廿四日入松茶屋守組

正徳四年辛酉年二月廿一日死

元禄十五年二月十八日

新中番武田興成組

津本町在福一里

大洲番一柳在守組

三信 津本八左衛門安通

後二百俵

同年十二月廿二日 二百俵之加(沙心)

九二百俵

宝永二年二月四日 新中番組

同年十二月廿二日 沙加意二百俵 九百

五十俵

宝永五年九月朔日 冲腰物奉行

同年十二月十八日 布衣著之免(三)

宝永六^五年九月廿六日拜参余

列寸

享保元申年十月廿三日石

是近の四百石俵八父不流家

享保二百年三月旨

瑞春院君御用人

元文三年八月廿一統免^んて

参合中列寸

寛保二^二年七月廿六日致仕^し料

三百俵と^り給^ふ

延享二^五年正月晦日死八十二歳

元禄十五年三月十八日

寛新助成孝貴子

大津高言右主水心廻

新津藩武田陣夜廻組

二百俵

寛傳又師心章

後二百俵

同年十二月廿二日卒俵^と加^へ給^ふ凡

二百俵

元禄十^一年八月九日^位相之間冲番

元禄十四^三年十月三日涉込習番

宝永元^申年正月十三日涉小納戸

涉込料三百俵と^り給^ふ

同年十二月二日布衣着を免^す也

宝永三^戌年九月廿八日父成孝失
如^お道^とと^うの^う増^まる^う道^とハ^ハ遺^い跡^せを^たた^しり
宝永四^亥年小善治母入^ら道^と井^い戸
對馬守組とな^りす
宝永五^子年四月廿日死^す年十八^歳

元禄十^丑年三月十八日

新井藩武田興友^組

武田助之丞資春改^改男^男忠^忠順
大津藩^{大津藩}代^代納^納中^中守^守組
二^二言^言後^後 太田^{太田}玄^玄十^十郎^郎資^資世
後^後二^二言^言卒^卒後^後
又^又二^二言^言石^石

同年十二月廿又日卒^後之^加 (注^ハ入^ル)

凡^凡二^二言^言卒^卒後^後

宝永三^戌年四月廿日卒^後同^又二^二言^言石^石是^也
お^おて^ての^の二^二言^言卒^卒後^後ハ^ハ二^二言^言石^石也^也

享保三^戌年十二月朔日新井藩^組頭

享保九^辰年十一月十八日西^西堀^堀 (屬^屬)

世々也

元文二年十月廿三日

若君(沖方)属也

寛保元五年四月二日老祥黄金二

之珍里入去屋平三郎支配

同年同月十八日死

元禄十五年三月十日

林清彦(某)總願

元方(沖)納戸

新井藩武田興隆組

現系名

林(中)右衛門 某

後(三)百字後

同年十二月廿二日涉加恩之旨

三月廿九日(三)百字後

元禄十二年九月十四日祥

組

宝永七年十二月 日死

元禄十五年三月十八日

新沖書式同興存組

神田三益(為次男)
拂方沖初戸
言後

神田興存(孫)

後二百平儀

同年十二月廿二日平儀之加(治之)
凡二百平儀

元禄十一年三月十八日

新津藩武田興隆後組

多田重隆(昌貞)後
小十人(友室)後
元禄四年
二言後

多田次席重昌次

同年十二月廿二日卒後之加(後)
元禄十一年後

元禄十一年八月十九日死早巳末

元禄十五年三月十八日

健世公衛門左重忠子

小十人後通保助組

新津藩武田興左衛門組

百俵十

伴野庄左衛門貞春

後二百俵

同奉十二月廿二日慶喜百俵と

加へり元二百俵是中二十口ハ

二階一子家

宝永又子年七月三日拜入久貝因幡守組

正徳三年十月廿七日死六十七歳

元禄十五年五月廿日

新井藩武田興隆組

千石 戸田又助膳房

戸田七之助云々願

大井藩河沼志摩守組

享保元申年七月廿日御用乃

よりめく時の為既行本去依守

長連の郵へるまで先年御書通

取と習見一討の事とも御尋問

一に云々云々一に云々云々云々

御用乃御書ハ 膳房天和二戌年御役と共々

一に云々云々云々 長連云々云々云々

明の女二日元法皇尊の分限帳と
翻入書作と家と一ふと法撰の
冊と翻入一に感一も一作ありて
法目符に法皇一きの作と家と
同年八月三日管仲小石と道と中宮
御用と命とと道同月七日法田あり
出にけし法使殿に次席めて法
皇洲と法と一書作と家と九日俄小
小の丸小石と道と
有徳院殿法皇の事と法皇小徳し
光と道と

享保元^中年八月十三日中宮尊通頭

同日法知戸改法腰物並法の次席と
命とと道と

同年九月十六日新小法皇尊と
法房の紐小屬とと家と

同年十二月廿二日奉小法皇尊に
法及法浦と法と

享保二^百二年三月七日法捨法に
お加一法皇と法房の存する旨
と授銅場へと一鶴とととと
初免法事料あり次と時法
と法と

同年五月十三日久く法皇止し

三つし十日鶴の沙放書ありし
時後ニ沙羽織と云ふ

享保三戌年十一月十八日布衣着と
命せり

享保四亥年三十一寛永十八年

九月松平陸奥守忠宗の御沙

鷹膳房の祖父又助貞吉の御書

沙の根本文平成重志二みく

沙巻に云保己亥年二月

大猷院殿沙放書の時天智と取

りて逸物なりして沙巻圖生写

りて命せり云林道春也撰と云

せしは油物を将野洞永小守

と命せり是を沙画と傳房小沙

希代の羅恩といはれり

享保六丑年十二月二日三十九日

忠領也て白多提綱年久

絶一箇肉当よりて或る羽合

多くて感一様と云ふ

其令一時服ニ云

享保七寅年四月十三日死み十七年

元禄十二年九月十九日

元禄十五年四月晦日被正出

川邊四郎重次

小笠原村新田守組

新田番黒川興盛守組

二言後 川邊四郎重次正盛
後三言守後

正盛守の護持院大僧正隆光
ありは見と清教人の列を人事と
形ひふしちまらに石出さる
廣末二百俵と清くは小笠原守
入る色はひの新清教守入る家
元禄十二年十二月廿二日守俵を
加(清)八元二百守俵

正徳四年二月廿九日老祥賜_二英令_一杖入
松本伊豆守組

享保二年二月十日死七十六歳

元禄十三_原年十月六日

窪田三郎左衛門忠行致願

元方沖納戸

新津藩黒川興彦組

二言後

窪田守直忠豊

後二言後

同_年十二月廿二日卒後之如_後心

凡二言卒後

元禄十五年八月九日_任伊藤奉行

元禄十六_未年十二月廿二日帯_に

芳阿_りと_とて英令_杖と_後心_是

と_り年_毎に_つり_す

宝永六_丑年二月廿一日_一流免_り心

元祖新洲藩竹本去依守祖(瑞)
書

元禄十三^辰年十月六日

松極活美宗夜夜子

元方洲船戸

新洲藩尾川典美清祖 二言依 松極清美盈貞

後二言依

後小左馬

同年十二月廿二日又十依之加(清)

元二言依

宝永^子年九月廿日新洲藩祖歌

同年十二月廿日沙加恩二言依元
器卒依

享保八年^申年正月廿八日洲船子

同年十二月十八日布衣翁之亮(子)

享保十六亥年十二月六日死六十九歳

元禄十三辰年十月廿

新井藩足川興茂組

二百五十名
九名
後二百五十名
同于依三斗穿

淋後長八郎夜総

淋後長八郎夜総
淋後長八郎夜総
淋後長八郎夜総

同年十二月廿九日二十依三斗穿と
加一法ハ凡二百五十名

正徳四年年三月二十日奥列南教願
津佐順海所換分と令せり也
同月晦日津服英令林時後
法り史と奥ふと申用と智め
五月十日及び六月朔日津湯を

心徳又^未年三月廿日新井安組取

同年十二月十八日百平後と加段の
凡四百石

享保三戌年八月七日

松平君の御方御用人と成り

同年十二月十八日布衣と成り

享保又子年九月廿日御遊去りて

同年十二月七日先立して奉合に

列

同年

松平君の侍うとみりて御展風

^{標名} 年 三双浪沙番好源氏物信箱

三幅對の沙武物唐洞の御番好

沙重箱但と成り

享保六丑年五月九日

養仙院君の御用人と成り

享保十七年八月廿日死六十二歳

元禄十三年十月六日

林宗常為伝憑願

拂方所地戸

新中書王川興為信組

三百十一石
三十三石
七合三勺

林甚助政信

正徳二年十月晦日解入松永信与吉組

正徳四年九月三日死六十四歳

元禄十三辰年十月六日

高木六郎某惣領

大津吉福系後河守組

新田番黒川興吉清組

言依 高木友左衛門某

後言卒依

元禄十三辰年十二月廿二日又十依

加へり九二言卒依

元禄十四巳年二月十八日位^{後言}遠傳

同日評定所 申右^り申^りて父^の某^と
お^のり^し^て後^に人^を星^野八^右衛^門の^う子^を
小^笠京^次高^左衛^門の^う三^男と^傳へ^り三^浦
十^右衛^門の^う方^へ申^上り^し世^に傳^へせ^し事

大禁と杞をいそぐ八丈橋へ
流刑ゆき處せらるゆい安後能後守
信峯傳へる

元禄十二年九月二日

吉田理信資附数願

大井川河治志摩守組

新井藩門下十兵衛組
元禄四年 四日後 太田理信資久

宝永三年九月廿八日輝入井戸對馬守組

宝永四年六月十八日死

元禄十五年九月二日

柳沢孫忠内憲去后子

大津藩奥川紀行守組

新津藩門下十番堀組 昌幸儀 柳沢源七而時附

宝永二年九月十日新津藩組歌

享保十六亥年十月十日涉船子

同年十二月廿三日布衣者之免道

元文五年二月十四日老祥時被之

之給了書合列子

同年十二月三日致仕發之判是

遊澤堂云

寛保元年十月十三日死七十六歳

元禄十二年九月二日

新井藩口屋十兵衛組

二百俵 河村新次郎通顯

二百俵

改作

同年十二月廿二日沙加恩二百俵凡

二百俵

宝永四年二月廿八日小善後方

同年十二月廿八日沙加恩二百俵凡二百俵

宝永六年四月廿日紀伊山

常憲廟と造らせらるる御用也

河村陽賢義通惣領

大津藩河川統御組

令をりて

同年十一月三日付左京殿出札

御仏殿と造りし小宮所りて其令一枚

時後ニシテ時家

宝永七宝年八月十六日御出札

常憲廟と造りし出せしに宮所りて

其令一枚時後ニシテ時家

同年十二月廿日未申の二月

淨光院君三回礼佛進福御用と

令をりて

正徳元卯年二月十六日付左京

佛進福の御用は宮所りて其令一枚

時後ニシテ時家

正徳二辰年二月十六日未申

嚴有願三十三回礼佛法會御用と

令をりて又二月十三日付しひの事小

宮所りて其令一枚時後ニシテ時家

同年十一月十九日未申の年二月

長昌院君五回礼佛進福御用と

令をりて此年の己丑年三月十三日

付左京御進福御用は宮所りて其令一枚

時後ニシテ時家

正徳四年三月廿二日御入太夫保

澄路守組

享保又子年六月十日御代官
享保六^乙年八月廿二日死又十七歳

元禄十又^乙年九月二日

富永彦彦三寛寛房

本州者酒井志系亮明子組

新津藩内藤十^乙彦彦組 三^乙彦彦 富永彦彦三寛寛房

正徳四年^乙年四月廿二日御入松本彦彦守組

享保四^乙年八月二日為安彦彦主膳

支配

元文又^乙申年^乙七月四日死八十四歳

元禄十五年九月二日

山長信左衛門宣友孝子

大御書本多能後守組

新津藩門後十番隊組

三言儀

山長瀬兵衛宗好

改平左衛門

禱入三校抄津守

組

宝永五子年八月六日致仕

宝永六^也年六月又日死六十七歳

宝永元^甲年九月十日

叔孫左馬重春惣所

而小納戸

新沖書酒井小車次祖

系人

叔孫左馬重春惣所

享保六^乙年四月廿七日父失所

高増有良八遠跡之形守

享保十^丁年十二月七日

天英院君沖廣浦番之歌

元文二^己年十一月三日死六十三歳

宝永三^戊年七月廿一日

石野彦八郎廣遠惣願

泚腰物方

新泚腰竹本去依守祖

二言若石野十^多廣豊

口字依

政源去馬

享保八^卯年五月廿一日

泚圓院君泚廣敷書之願

享保十^一年八月三日二九泚廣敷
書之願

享保十六^亥年十二月二日泚女九泚廣
浦書之願

元文三年七月廿九日死六十六歳

宝永三^戌年七月廿日

野万金^{重高}重高

大津^河河^志志^摩摩^守守^組組

新津^藩藩^本本^太太^右右^守守^組組
三^言言^依依 野^田田^金金^右右^衛衛^門門^重重^忠忠

正徳^又又^未未^年年^四四^月月^十十^日日 津^波波^地地^法法^算算^前前^其其^行行

享保七^宝宝^年年^四四^月月^十十^日日 各^拜拜^入入^安安^后后

主^膳膳^支支^配配

享保十^三三^年年^六六^月月^十十^日日 死^六六^十三^歳歳

宝永三^{戊辰}年七月廿一日

依指忠左衛門吉親表子

大洲幕下向去依守組

新洲藩所本去依守組

三言^{平依} 依指十左衛門佳藏

宝永六^丑年九月廿三日吹上ありて

大の沙流ありて之^後當中に

石^子包^こて黄^令一^たと^結り

正徳元^卯年三月四日禱入大久保澄路守組

享保四^亥年八月二日為永井宮内

支配

享保七^寅年十二月廿二日致仕津和

定云

享保十四年三月十八日死六十案

宝永又子年四月十二日

辨知所更吉重然願

小十倉能控衛組

新洲書竹奉云仇守組

三右衛門
七右衛門

新智保三右衛門吉品

正徳三己年十月輝入松原伊豆守組

享保四己年八月二日高永井宮内

支配

享保又子年十月廿九日元組新智保

松浦保一席組(歸處)

宝永六年二月廿一日

竹尾市並藤門元清惣願

御小細戸

新沖藩竹本玄依守祖

三言若

竹尾傳九郎元真

心平依

心徳三巳年七月三日死

宝永六年二月廿日

宝田三喜春の志行無厭

即先代沖服承り

新沖藩竹本去依守組

言平後 宝田三喜春の志行

同年四月十九日父失物と云増

たり此の遺跡と致す

正徳六年三月廿七日死七十二歳

正徳元^卯年十月廿日

大久保新藩忠尚忠子

大久保新藩長門守組

新藩藩竹中左衛門守組

三言右 大久保藩三郎忠治

内百卒依

享保十二^未年九月又日死

正徳元年十月十六日

宝永四年十月十日

牧野助十郎正通

小差松系守組

新井藩竹本玄佐守組

七百石

牧野主馬正重

改傳

享保十一年八月十七日死

正徳四年 年二月十日

元禄十六年十一月十日家督

新井藩竹本玄佐守組

二百俵 山下玄佐守組 義澄
二百俵

半在御座内 義方 義順

考合

同年十二月廿三日卒 俵之加 治八
九二百五十俵

正徳又未年十月十日死 三十四歳

正徳四年二月十日

山本安兵衛勝忠

旗方御用

新洲奉行奉云仇守組 署名 山本安兵衛勝忠

享保九年十一月十日新洲番組取

享保十六年七月十日伊豆廣安寺組取

同年十二月九日布衣着之免寸也

享保二十一年八月廿四日取

正徳四年二月十日

原田三之丞種貞書

大洲支那系渡河守組

新津藩竹本去仇守組

四石

原田平兵衛種慶

改 四石九郎

其子

享保十二年二月十六日西元新津支組死

宝曆六年八月九日死六十歳

正徳四年二月十日

石野勘次郎重忠

石野勘次郎重忠

新井藩竹本去依守組

石野 一席廣清

改命重忠

寛保三年二月廿六日老祥賜茶合二入

阿部伊織支配

延享元年七月三日死七十七歳

正徳四年二月十日

鈴木長房の重富殿願

小十人出雲系七左衛門組

新抄番竹本去仇守組

四景

鈴木次郎重房

同日惣れうち又十俵と是し一あり
作さるる

正徳^未年二月九日辨入大將肥前守組

享保二年正月廿日死四十五歳

享保元^申年^巨二月二日

元禄十六未年月 日 源目

新見傳書三長熟所

案合

新井番竹本去仇守組

言後

新見又三而正幸

後二百五十俵

同年十二月十六日卒後之加可人

凡二百五十俵

享保十三^申年三月廿八日^新西丸新井番

去屋平三而組

享保元^甲年^丑二月二十日

布施六左衛門正勝惣領

大津郡松平邊江守組

新津藩竹本左衛門守組 三官後 布施六左衛門正勝

享保二^乙年^寅八月廿八日 入松兼修江守組

享保四^丁年^辰八月二日 為有馬門後

左配

享保九^壬年^戌八月十三日 甲府勅番

と今せし色有馬出羽守左配並

なり

同年九月廿八日 涉服涉自の儀と

家子と夫と甲府小系と母時
江戸の居郵市々谷本村の地六畝
甲府郭外百石所宛切返十一番
屋浦四百石八坪屋地とも
給也

享保十一年九月七日於甲府死
三十八歳

正望の殿と甲府塚岡廣曉山
信立寺小邊家

享保元^申年二月二日

河村又十郎清親忠子
大洲松平道守組

新洲番竹本玄依守組
言奉後河村長友(清房)

享保八^卯年五月十七日死六十一歳

享保元^申年二月二日

小林左衛門正信忠子

大津左衛門野中守組

新津藩竹本云依守組

言平信小林九郎玄清正極

改彦彦

享保六^丑年三月三日春田藩の

郵敷少右衛門

元文四^未年四月七日津留守居支配小菅藩

組歌

宝曆元^未年五月廿日西條の沙

妻津門番之院

同年十二月十八日布衣着と虎さる

宝曆又亥年八月廿日死六十六歳

享保元^申年二月二日

猿部六左衛門重昌惣領

大津守野邊中守組

新津藩竹本玄仇守組

三右衛門 猿部兵衛重昌惣領

四三右衛門

享保十八^丑年拜入久留藩教馬支配

寛延二年八月廿六日死

享保元申年二月二日

富士市市信宗惣領

小主人小川左衛門

新沖書竹本去依守組

三言 富士市市信宗

内百後

享保八年八月廿九日拜入伊丹是左衛門支配

元文三年七月三日死七十歳

享保元^甲年^丑二月二日

林基助改任隔添兼祖

林基助改任

小十人信徳田新在門組

新沖書竹奉去仇守組

三百十石
三斗五升
七合二勺

林新助政寛

宝曆十一^乙年八月二日刻新沖書有馬宗女組

享保元申年二月二日

宝永五年八月廿八日

山長平左衛門 宗好 景子

小善 隆太 保澄 治守 組

新洲藩竹本玄依守組

三右衛門 山長 友之 景保

享保二十年九月初日 西九切子 洲門 善之 親

享保十九 寅年九月二日 死七十一 景

享保元申年二月二日

後三郎金保慶長子

宝永三年九月廿五日跡目

小室後杉本和泉守組

新洲書竹奉去仇守組

千石

服部金弥保和

改一平

寛保二^戌年七月六日拜入大目忠四郎支配

同年十二月二日致仕大目及と云

宝曆六^子年十月九日死六十四歳

享保三年三月十六日

富田八重隆の系久願
大洲吉田源次組

新洲藩竹本去仇守組 言者富田忠左衛門良久

享保十三^申年六月十日禱入青木右衛門支配
元文三年^辛年五月七日死六十一歳

享保二年三月十日

竹村公彦の赤明誓願

小善治大徳肥前守組

新津藩竹本云仇守組

新津
三言

竹村八郎善清加會

享保二年三月廿三日

將軍家西城(渡らせり)時虎の間

めく掛掲一守りに山里にて馬と

交りて見まきより此作と記す

山里めく家馬と誓免

同日廿四日この山里めて約束し

了毎常にわたりけり此と免

享保六^五年三月十日
享保七^六年四月九日
享保九^八年五月二日
享保十^九年六月十八日

享保四年四月六日死五十八歳

享保九^八年五月二日
将力降騎馬（勢榮）

十月十八日在病不出版

享保四年十月廿七日

三橋平助成章魚原

元方中納戸

新井藩竹本左衛門守組 三章三橋典八市成禱

宝曆三年八月廿四日老禱賜黄金杖二入
戸田孫十市支配

宝曆十年九月廿六日致仕髪と
判了と云

宝曆十三年八月廿日死七十九歳

享保又子年十月廿九日

御智所美吉重慈願

小善信祖永并官内死

新洲蒲松浦派一節組

二百半

誠知派三在坊(吉品)

享保十一年二月廿九日死享年七歳

享保九年十月九日

柳永平之安書子

大津藩奥川力總守組

新津藩松浦派一席組

二百俵

柳永平四席正奉

享保十四年九月五日

小石川君邊習書

同日沙汲料二百俵と給付

享保十六年 月 日 柳永平

長谷川支配

宝曆二年十月廿七日死年十六歳

安永七^戌年七月十九日

吉作右 三十一日

河腰物方小森源六郎信正為願

大永十^五年利忠為願

大津波表川中徳守組

新洲番松浦源一市組 四石 大永久之市正客

享保十^五年十二月四日死三十八歳

御
覽
入

安永七戌年七月十九日

御
腰
物
方
小
林
源
六
郎
信
忠
為
儀

柳宗元

柳宗元集卷之九

元嘉七年六月

享保九年十月九日

大目十左衛門利忠殿

大津波表川中守組

新洲番松浦丞一席組

四右衛門

大目十左衛門正客

享保十二年四月二十八日

享保九年十月九日

後川左衛門重定歟願

本州書三浦肥後守組

新洲書松浦丞一席組

二百四
三倉集卷

後川左衛門勝定

及十左衛門

延享元_子年二月廿六日死六十歳

享保九年十月九日

左田長十郎嘉寛惣願

大津友植村左兵衛組

新津書松浦泳一節組

言奉 太田保兵衛嘉業

内守儀

享保十三年二月十四日喜山久保町

の火災あり由小日向水道所の邸敷火

切家

寛延三年分月九日御書沙門切子番之段

宝曆十三年十月廿一日老祥英合

校二

を治り入山口兵衛康左衛門

明和元年五月十二日死七十八歳

享保九年十月十八日

森川傳十郎重房

大洲岩田守

新洲署松浦丞組

三言

森川傳十郎末房

政中

寛保二年正月八日死六十一歳

享保十一年正月廿八日

中根金太郎昌長書

兎

大津波村去仇守組

新津書松浦河一市組

三言 中根傳左衛門正雅

宝曆八寅年正月十六日津書物在行

明和四年正月廿九日老津英合二

之賜里川口能登守支配也な於

同年六月初日死七十五歳

享保十一年正月廿八日

窪田行奮正方為願

栗

大井藩水野重俊守組

新井藩松浦保一席組

四石 窪田行奮正福

四言字依

享保十一年十月廿一日死

享保十一年正月廿日

西元

新井藩松浦正房組

昌幸

鈴木次右衛門政國

松本新藩門重久願

本陣小幡海守組

寛延元年

辰

年九月二日輝入松下嘉兵衛支那

寛延二年

年七月廿九日致仕法山

如云

宝曆十一年八月廿九日六十一歳

享保十一年正月廿八日

享保六年十一月廿七日
西元

新井藩松浦丞一而組

小室右 恒景源 松浦資別

恒景源公御資房惣願

小室信建初氏松浦左死

宝曆十辰年六月七日死

享保十一年二月廿八日

元禄十三年正月廿九日分知

西元

新汗普松浦添一席組

長部左衛門忠政男

小善後組越川渡彼守五郎

二名 長部三次而忠宣

元文元年二月廿九日死四十七歳

享保十一年正月廿八日

享保九年九月三日

西元

新井藩松浦弥一而組

川井七十席周久

川井七之助之孫貴子

小室信組池川瀆破寺藏

元文元年六月十八日いまご居郵

たのりしが市ヶ谷太保合めて二百坪

の比と信家

元文又申年九月九日因物沖流の村

連りて明の十日言中、にらうとて特抜

ニと信家

宝暦三年十月廿日露の山里めて

大の十平対涉後の村多列し留申
ありてハ時彼ニと修家

宝曆十一年八月二日新洲書神尾五郎三郎組

享保十六年四月十三日

栗

新洲書神尾内記組

三右衛門 野沢源左衛門清位

野沢五郎房總願

西九平八玉雲左衛門組

享保十九年六月廿一日支配 福徳左衛門

延享三年六月二日支配 小菅清延

寛延元年九月廿日支配 小出信濃守
英智郡長門郡支配 相支配
小俣平左衛門所人の牌之飯養子

船一りの川をよ水野七帝大権の
 次男はあーと中権鬼のうらふ
 さふたにうらふ沙丸明河と
 うらふ平太権の出舞せし奉国殿と
 二年と誤しあらうら出舞せし
 ありし中陳もるといふもさ浮
 なりたはらひひさう月て新大法と
 かせしとあつと出舞せしわらに
 あつとの作とあつて沙役と葉
 ともは権虎とあつて作あつと
 大景大常市とあつとあらは
 同年十月十八日龍虎と虎

(さつと)

寛延三年六月廿日死又十二歳

享保十^戌年四月十三日

兎

新沖番神尾内记組

三喜

松本源七郎保勝

松原橋原守正勝二男

大所虫酒井紀信守組

改口番番

同年八月十六日小石川傳通院

妻門下仲間あり同十三日妻

二十三間余之居郵の地也

元文元年七月十日死六十歳

享保十八^戌年四月十三日

兎

新洲番神尾内记組

三音像

早川後龜守定孝

早川後龜守定清教願

兎半之神田結龜組

延享元^子年六月十四日辭入竹中周防守支配

寛延元^辰年八月十四日致仕早休

と云

明和三^戌年三月廿八日死六十歳

享保十八年八月十六日

兎

新中書御内記組

柳宗又帝貞亮惣願

西兎御腰物方

四倍 柳宗権七帝改房

改又七帝

寛延元年辰年正月九日死四十三歳

享保十八年八月十六日

酉元

新津藩御内記組

言奉 大村兵之助高政

大村家御内記御願

大津藩御内記御願

宝曆十一年八月二十日刻新津番久松忠次郎組

享保十八年八月十六日

兎

新津藩神尾内記組

言奉後 太田伊織忠勝

芝田小倉忠郷殿

大津藩戸田太道将監組

拜入

寛延三年八月十日大津藩水野
肥前守組拜入

[Faint, illegible text on the left page]

[Faint, illegible text on the right page]

